

平成23年6月26日 今週のベストショット



H23. 6. 26 青松園A 奈多サンデーズ対三苦三球会

二打席連発を放ち全勝対決を制する原動力となった奈多サンデーズの野々下選手。強打者が揃う奈多サンデーズの中でもその飛距離は群を抜いている。HR王争いに名乗りを上げる逸材だ。

(写真：ソルトベイスターズ 田中裕次郎)

雁ノ巣レクD

塩浜ジャガーズ	3 5 0 0 0 4	1 2	勝投手：山中	HR：立石、稗田
新町ウインズ	0 0 1 1 0 5	7	負投手：大久保	HR：松田

1回表ジャガーズは、ウインズ早田投手の制球難にて押し出しで3点を先制。2回表ウインズは早くも投手交代。しかしジャガーズ3番立石、5番稗田に本塁打を打たれ、打者一巡の猛攻を浴び5失点。続く3回表、ランナー2塁から3番立石のセンター前ヒットで本塁狙うも、ウインズセンター桐島(司)の好返球にてこの回を無失点に抑える。3回裏ウインズは、1点を返し1・2塁と追加点のチャンスに先程好返球を魅せた桐島(司)。しかしゲッツーにてチャンスを潰してしまった。ウインズは2回以降代わった大久保投手が要所をしめてジャガーズに得点を許さず試合は経過。5回裏、途中から出場の今林(孝)がライトオーバーを放ち一気に本塁突入を図ったがあえなくタッチアウト。すると6回表、二者連続の三塁打を浴びせジャガーズが反撃。この回三本の長打などで4点を奪う。しかしその裏、ウインズも負けじと反撃開始。松田の満塁ホームランで追い上げにかかるも、序盤と終盤のダメ押しの大量失点が大きく響き、ジャガーズを脅かすまではいかなかった。(記事 奈多クラブ 吉田貴史)



前回の完封負けから一転、二桁得点でウインズを一蹴したジャガーズ打線。



ウインズの苦しい台所事情を支える早田投手。打力があるだけに、いかに失点を減らすかがウインズ浮上の鍵だ。

青松園A

三球会 1 0 2 0 1 0 4 負投手：吉留 HR：藤澤
奈多サンデーズ 2 3 1 3 0 × 9 勝投手：江口 HR：木下、野々下2本

初回、三球会は1番藤澤の先頭打者本塁打で先制する。その裏サンデーズも1塁に四球の長浜をおいて2番木下の2ラン本塁打ですぐさま逆転。サンデーズは2回裏、またも木下のタイムリーなどで3点を加える。何とか追いつきたい三球会は3回表に塚のタイムリーで2点を返すが、サンデーズ野々下の2打席連続本塁打で突き放され、最後はサンデーズ二番手・首藤に抑えられた。サンデーズ野々下選手の2本目の本塁打は、外野手が一步も動かない見事な当たり！全員四番のような奈多サンデーズでした。

(記事：ソルトベイスターズ 田中裕次郎)



HRで先制された直後に倍返し2ランを放った奈多サンデーズ木下選手。ノリに乗って3打数3安打3打点と勝利に大きく貢献した。



おとととと（汗）足場の悪い中でも懸命のプレー。



打撃力のある三球会を相手に粘り強く投げる奈多サンデーズ江口投手。



強打好守の三球会澤田遊撃手。春の大会では彼のバットが奈多サンデーズを破った。

奈多グラウンド

三苦フレンズ	0 0 0 0 0	0	負投手：塔本	HR：なし
奈多フェニックス	4 3 5 0 ×	1 2	勝投手：池見	HR：なし

フェニックスは初回表、五番実延（新）のタイムリーなど4本の安打と敵失で4点を先制すると、続く二回にも今林（勇）、安河内、実延（彰）の連続長打などで3点を加えた。三回にはさらに4本の長短打などでダメ押しの5点を加え、試合を一気に決めた。フレンズは三回まで無安打だったが、四回裏、亀井（宏）の右中間二塁打などで一死2・3塁のチャンスをつかむものの、フェニックス池見投手の好投に後続を絶たれた。五回裏にも下位打線がボールを捉えていたものの、ことごとく野手の正面をつき、反撃にはいたらず完封負けを喫した。フェニックスは安打のみではなく、敵失や内ゴロの間にも点を取るなど、そつの無い攻撃で強さを見せつけた。グラウンドコンディションが悪いことで、急遽対面側をホームにしての試合であり、右翼はフェンスが近く守りにくい状況の中、記録には残らないがフレンズ右翼手寺山のガッツあふれるプレーやその後の好守が印象に残った。（記事 雁ノ巣ライナーズ三宅基裕）



初回到左前先制タイムリーを放つフェニックス実延新伍選手。



四回裏、フレンズ亀井宏和選手の右中間二塁打で反撃開始となるも、得点を奪えず。



3安打目となる絶妙なセーフティーバントを決めるフェニックス今林勇太選手。



一塁への強襲ヒットを放つフレンズ溝ノ上隆之選手。

雁ノ巣レクE

三友クラブ	00200	2	投手：足達	HR：なし
三苦ホーネッツ	00200	2	投手：井手・矢野	HR：なし

試合が動いたのは三回。三友クラブはランナー1・2塁から、4番松尾選手のライト線へ三塁打で2点を先制。しかし、ホーネッツもすぐに反撃。その裏、相手の守備の乱れに乘じ、1点を返すとさらに矢野選手の犠牲フライで同点に追いつく。その後、両チームともランナーは出すものの両エースが踏ん張り、試合は引き分けのまま終了した。（記事 レッドサンデーズ鳥羽晃弘）



先制2点タイムリー3塁打を放った三友クラブ松尾選手。



2点先制された直後、同点の犠牲フライを放つホーネッツ矢野選手

第8週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

雨のため三週間ぶりに4試合が開催されました。みなさんウズウズしていたんじゃないですか？奈多グラウンドでは対面側をホームとするなど、グラウンドコンディションがすぐれない中、各球場で熱い戦いが繰り広げられました。

今週まで全勝だった三苦ホーネッツが三友クラブに引き分け、全勝同士の対決で三球会が奈多サンデーズに敗れ、これで全勝は奈多サンデーズと奈多フェニックスの2チームとなりました。

奈多サンデーズは打率がリーグトップ、一方フェニックスは防御率がリーグトップです。

どのチームがこの2チームを止めるのか、はたまた直接対決になるのか？

夜も寝苦しい季節となって来ていますが、節電の意味もありますし、クーラーのかけ過ぎには注意して下さい。